

平成24年10月5日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成24年7～9月期実績、10～12月期予想－

横浜信用金庫(横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

業況DIは4四半期ぶりに悪化

特に製造業の悪化が目立つ

- 今期(平成24年7～9月期)の業況判断DIは $\Delta 12.1$ と、前期比 3.2 ポイント低下した。来期は $\Delta 8.3$ と、今期より 3.8 ポイント上昇を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比 10.7 ポイント低下の $\Delta 14.3$ となった。特にプラスチック製品、電気機械器具、食料品が悪化した。製造業の来期業況判断DIは $\Delta 7.1$ と、今期より 7.2 ポイント上昇する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比 0.5 ポイント上昇の $\Delta 11.0$ と前期とほぼ変わらなかった。建設業のマイナス幅が大きく縮小した一方、不動産業と卸売業が悪化するなど、業種によって大きな差があった。非製造業の来期業況判断DIは $\Delta 8.8$ と、今期より 2.2 ポイント上昇する見込みである。

【特別調査】 中小企業における事業上の情報収集・発信について

- 情報収集時に活用している媒体は「新聞・雑誌」が約半数
- 活用している情報発信媒体は「特にない」に回答が集中
- 情報発信媒体に期待する効果は「新規顧客の獲得」が最多
- ソーシャルメディアを「利用していない」が圧倒的
- インターネット利用時の課題は「特にない」が最多

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:753先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成24年9月上旬

その他詳細につきましては、別添の「《よこしん》景況レポート」をご覧ください。



横浜信用金庫